

新京都戦略（骨子）政策集

すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向け、基礎自治体として、福祉、教育、子育て、包摂性の高いまちづくりや京都経済の下支え、安心安全など、市民生活第一の徹底はもとより、都市の活力の創出、更なる成長に向けて取り組みます。

それにより、デジタルの力も活かし、人口減少対策、京都ならではの地方創生の実現、持続可能なまちの構築を進めます。

- 1 京都のまちが紡ぐ文化の力を活かし
「新たな魅力・価値を創造し続けるまち」
- 2 居場所と出番により、つながり・支え合う
「包摂性が高く誰もが生き生きと活躍できるまち」
- 3 京都の伝統・知恵・イノベーションの力により
「都市の活力と成長を支える産業のまち」
- 4 京都ならではの学びと子育て環境を通して
「未来を担う子ども・若者を共にはぐくむまち」
- 5 豊かな自然・歴史的景観と地域の魅力を活かした
「自然環境と調和する持続可能なまち」
- 6 市民のいのち・暮らしを守る
「安心安全で災害に強いレジリエントなまち」

1 京都のまちが紡ぐ文化の力を活かし「新たな魅力・価値を創造し続けるまち」

文化の担い手・支え手の減少、芸術家をはじめとするクリエイティブ人材¹の受け皿の不足、京町家など歴史的な建造物の滅失、一部の観光地や市バス・道路の混雑といった課題に対応し、京都の自然・歴史が育んできた文化の力を活かし、まちの魅力を更に高めていくため、誰もが文化に触れる機会の創出と文化の継承・創造の基盤整備、文化を基軸とした価値創造、京町家の保全・継承、市民生活と「観光」の両立に取り組む。

(1) 誰もが文化に触れる機会の創出と文化の継承・創造の基盤整備

- ① 伝統芸能・音楽・アートなど、多様な文化に誰もが触れる機会の創出
- ② 京都コンサートホールの大規模改修を契機とした北山エリアの文化・交流拠点化や国、民間等との連携による国際的な音楽祭の開催など、音楽の都としての魅力向上
- ③ 文化の担い手や支え手の育成・支援
- ④ 国との連携による国立文化財修理センター（仮称）の市内への早期設置の実現
- ⑤ 京都ならではの博物館機能の整備
- ⑥ 政治・経済の首都である「東京」と歴史・文化の首都である「京都」の双方で、都としての機能を果たす「双京構想」に向けた取組の推進

(2) 京都の自然・歴史が育んできた文化を基軸とした価値創造

- ① 国内外のクリエイティブ人材の呼び込み、受入環境の構築、交流を通じた新たな価値創出や課題解決、多拠点居住・移住の促進
- ② 国際的なアートイベントの開催など、歴史的建造物等のユニークベニュー²としての活用の促進
- ③ 文化遺産の保存と活用の好循環の創出
- ④ カルチャープレナー（文化起業家）³との連携による価値創造など、文化への投資の更なる呼び込み
- ⑤ アートを活かした産業の創出に向けた京都市立芸術大学とアートアンドテクノロジー・ヴィレッジ京都の連携

(3) 暮らしの文化の象徴である京町家の保全・継承

- ① 京町家の保全・継承に向けた規制や支援など、より実効性の高い施策の構築
- ② 国との連携による相続税・固定資産税など京町家所有者の負担軽減措置の検討

(4) 市民生活と「観光」の両立

- ① 国との連携による全国初のパイロットプロジェクトとなる市バス等の「市民優先価格」への挑戦など、市民が観光の意義や効果を実感できる環境づくり

1 アーティストやクリエイター、科学者やエンジニア、職人、料理人など、新たな産業創出につながる創造性をもった人材

2 二条城など歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場

3 自分たちの文化、価値観などへの愛着等をエネルギーの起点に、共感者を増やし、文化的遺伝子を残していくことを意図して事業を成立させている人（文化起業家）

- ② 宿泊税の引上げと効果的な活用
- ③ 観光特急バス等の利用促進など、市バスの混雑対策の実施
- ④ 市バス・地下鉄のキャッシュレス化の更なる推進
- ⑤ 府市連携による周遊観光など、時期・時間・場所の分散化の推進や、観光ハイシーズンの休日におけるマイカーの乗り入れ抑制・制限の検討
- ⑥ ごみのポイ捨て（不法投棄）防止や観光地でのごみの発生抑制、民間協力によるスマートごみ箱の増設など、きめ細かな観光地等のごみ対策の推進
- ⑦ 暮らしの文化など、京都に息づく奥深い魅力を活かした「観光」の推進や多彩な人の交ざり合い、京都の文化の継承・発展につながる「観光」振興
- ⑧ 国との連携による国立京都国際会館の多目的ホールの拡張整備、歴史的建造物等のユニークベニューとしての活用など、京都の強みを活かした MICE 誘致の強化と国内外の人々の交ざり合いの創出

2 居場所と出番により、つながり・支え合う「包摂性が高く誰もが生き生きと活躍できるまち」

少子高齢化の進展や単身世帯・共働き世帯の増加などによる地域活動に携わる余力の減少、担い手不足、地域のつながりの希薄化の進行による孤立の危惧といった課題に対応し、多様な主体が垣根を越えてつながり・支え合う社会を構築するため、つながり・支え合いによる地域コミュニティの活性化と持続可能な地域づくり、福祉・健康づくり・医療衛生の一体的な推進、スポーツの絆による健康で心豊かな社会の実現、一人一人が尊重され、誰一人取り残されない共生社会の推進に取り組む。

(1) つながり・支え合いによる地域コミュニティの活性化と持続可能な地域づくり

- ① 公園や学校、ホール、市役所前広場をはじめとする公共空間、人々を癒し、コミュニティの中核をなす銭湯等の民間施設を活用した、市民や多様な主体がつどい・つながり・交ざり合う機会の創出
- ② 自宅や学校・職場以外の第三の居場所、更には、新たな価値や気づきに出会える場など、図書館の多機能化に向けた取組の推進
- ③ 地縁・志縁⁴・大学・福祉関係団体等のつながりを形成・促進する「結節点」としての区役所・支所の機能強化、区役所と本庁の連携による政策の磨き上げ、「結節点」となる人材の育成による地域内外の人材の交ざり合いを通じた多様なコミュニティの形成の支援
- ④ 地域コミュニティの担い手の学び・交流の場の創出
- ⑤ 自治会・町内会へのデジタルツールの導入・運用支援
- ⑥ 地域の高齢者の支え合いによるデジタルサポートの展開

(2) 福祉・健康づくり・医療衛生の一体的な推進

- ① 重層的な支援体制による孤立・孤独など複雑・複合的な課題に対する支援の推進や障害がある方への包括的な支援
- ② 府市協調による18歳から30歳代のがん患者の在宅療養を支援する制度の創設
- ③ 府市協調による精神障害のある方を対象とするための重度心身障害者医療費支給制度の拡充
- ④ 妊娠期の歯科検診への助成など、生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進
- ⑤ ICTを活用した、認知症の高齢者が安心して暮らせる見守り体制の構築
- ⑥ 医療、福祉、行政機関が連携した医療提供体制の構築など医療ネットワークの強化

(3) スポーツの絆による健康で心豊かな社会の実現

- ① 西京極総合運動公園など、スポーツに親しむ環境の充実や民間スポーツ施設の公的利用の推進
- ② 宝が池公園運動施設アーバンスポーツパークなどニュースポーツ・アーバンスポーツを楽しめる環境づくり
- ③ スポーツ団体・スポーツ推進委員の活動の活性化支援

(4) 一人一人が尊重され、誰一人取り残されない共生社会の推進

- ① 様々な困難な問題を抱える女性に対する総合的な支援や女性の活躍促進

⁴ ボランティア団体・NPO法人等、特定の目的（志）で集まる団体

- ② 性的少数者の方のパートナーシップ宣誓制度の都市間連携の拡大など、多様性・包摂性あるまちづくりの推進
- ③ ペットの終生飼養の啓発や、飼い主の体調不良時や災害時への備えの支援、地域猫活動の推進など、人と動物が共生できるまちづくりの推進

3 京都の伝統・知恵・イノベーションの力により「都市の活力と成長を支える産業のまち」

京都の経済・文化を支える地域企業・中小企業や伝統産業、農林業が抱える様々な課題に対応し、京都の持つ伝統・知恵・イノベーションを活かして都市の活力を創出するため、地域企業・中小企業の持続的発展・成長に対する支援、伝統産業や商業の振興、食文化の継承・発展はもとより、スタートアップの創出・成長促進、成長産業の振興、企業立地の促進、農林業の成長産業化と持続可能な経営の支援に取り組む。

あわせて、大学のまち・京都の強みを活かした都市の活力の創出、都市の成長や魅力向上につながる都市機能の集積・充実に取り組む。

(1) 京都経済を支える地域企業・中小企業の持続的発展・成長の支援

- ① オフィスや民間ラボの開発促進、共創の場づくりなど、京都企業の発展を促進するオープンイノベーション⁵環境の創出
- ② 地域企業・中小企業の魅力発信や、地域企業訪問プログラムの実施等によるインターンシップの充実、留学生の市内就職促進など、京都で学ぶ学生の市内就職の促進
- ③ 府市協調による就労・奨学金一体型支援事業の利用促進に向けた取組の強化
- ④ DX やリスクリング⁶など、地域企業・中小企業の持続的・創造的な成長・発展に向けた支援
- ⑤ 地域企業・中小企業のIoT・ロボット技術を有する人材の育成支援
- ⑥ 地域企業・中小企業の経営基盤の強化につながる相談・支援体制の構築
- ⑦ 専門のコーディネータ配置など、産業支援機関の技術支援やコーディネート機能の強化

(2) 地域と文化を支える伝統産業や商業の振興、食文化の継承・発展

- ① 伝統産業とアートの融合により新たな価値創造につなげるなど、国内外の販路の開拓・拡大、担い手の育成等を行う先進的な取組の支援
- ② スタートアップなど民間事業者等との連携による商店街の魅力創出と発信
- ③ 中央卸売市場を核とした安心安全な食材の安定的な流通、京都の食文化の発信と、府市協調による「食の京都」の推進

(3) スタートアップ創出・成長促進、成長産業の振興、企業立地の推進

- ① 京都の強みである大学の研究知や京都企業の高い技術力を活かした、長期目線で社会にインパクトを与えるグローバル企業の創出
- ② ディープテック⁷の事業化支援、高度人材の発掘・育成、海外展開等の成長支援による、世界を変えるスタートアップ企業の創出
- ③ スタートアップ企業の支援強化に向けた、グローバルな知見、人的ネットワークを持つ人材の育成・誘致

⁵ 企業内部と外部のアイデアを有機的に結合させ、価値を創造すること

⁶ 新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得すること

⁷ 特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術

- ④ 産学公連携・オール京都による、スタートアップビザ制度⁸を活用した留学生の京都での起業支援
- ⑤ 若者のアントレプレナーシップ（起業家精神）を醸成し、京都で起業する人材を育成するプログラムの展開など、大学発ベンチャーやスタートアップの創出に向けた取組の推進
- ⑥ 府市連携による広域での半導体関連産業やメディア芸術などの産業育成・企業立地の促進
- ⑦ 国内外の突き抜けた企業の立地や多彩な人材の集積・交流・協働の促進

(4) 農林業の成長産業化、持続可能な経営の支援

- ① 自然と調和した環境負荷ゼロを目指す「グリーン農業」や、新たな農業ビジネス創出の推進
- ② 市内産木材のブランド化や木質バイオマスの活用の推進、市内産木材の積極的な活用や建築物への木材利用の促進による、京都型の「ウッド・チェンジ」⁹の加速化
- ③ 農林業の担い手の確保・育成の推進

(5) 大学のまち・京都の強みを活かした都市の活力の創出

- ① 相談窓口の設置や日本語・日本文化を学ぶことができる拠点の充実など、海外の研究者や留学生等が、京都に来て、暮らし、活動しやすい環境づくり
- ② まち全体をキャンパスに大学・学生と地域、学校、企業等が連携した地域活性化や社会課題解決に向けた取組の推進

(6) 都市の成長や魅力向上につながる都市機能の集積・充実

- ① 国・事業者との連携による京都駅の施設改善と機能強化
- ② 京都駅周辺の新たなビジネス・交流の創造拠点化に向けたオフィス・商業施設の供給促進、市有地の有効活用による都市機能の集積
- ③ 国の都市再生の制度なども活用した官民連携による三条京阪駅周辺における都市機能の高度化

⁸ 外国人起業家の更なる受け入れ拡大を目指し、出入国在留管理局への申請時の条件を緩和し、外国人の起業準備期間として、最長1年間の在留資格を認める制度

⁹ 身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動

4 京都ならではの学びと子育て環境を通して「未来を担う子ども・若者を共にはぐくむまち」

就職期、結婚・子育て期の市外転出、子ども・若者・子育て世帯が抱える課題やニーズの複雑化・多様化といった課題等に対応し、京都ならではの学びと子育て環境を充実するため、子どもが興味や関心を高め夢中になれる教育、子ども・若者を誰一人取り残さない切れ目ない支援、子育て世帯をはじめ市民にとって魅力あるすまいの流通に取り組む。

(1) 子どもが興味や関心を高め夢中になれる教育の推進

- ① 子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育と、学校運営協議会の活性化や学校外の人材活用などによる開かれた学校づくり・地域ぐるみの教育の推進
- ② 市立・府立をはじめとした高校間連携、高大連携による探究型学習、STEAM 教育¹⁰の実践、アントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成、グローバルに活躍できる人材の育成
- ③ 幼少期からの伝統芸能をはじめとする文化や芸術、食文化、モノづくり体験や自然体験など、地域交流を通じて子どもの豊かな感性を育む京都ならではの体験型学習の充実
- ④ 発達障害や医療的ケア、不登校の児童生徒など支援が必要な児童生徒への取組の充実や、いじめ対策の強化
- ⑤ 全員制中学校給食の早期開始に向けた計画の着実な推進や、京都ならではの食文化を活かした献立の充実ときめ細やかなアレルギー対応等の「京都方式」による実施
- ⑥ 小中学校の給食費無償化に向けた総合的な検討と保護者負担の軽減に向けた国への働きかけ
- ⑦ 多様な主体との連携による子どもの活動機会の充実に繋がる中学校部活動の地域移行・地域連携の推進
- ⑧ 国との連携による、小中学校の普通教室の空調更新や学校体育館の空調整備の計画的推進
- ⑨ デジタル学習基盤の効果的な活用など教育 DX の推進
- ⑩ 教職員等の配置の充実や処遇の改善の実施による教員不足の解消

(2) 子ども・若者を誰一人取り残さない切れ目ない支援の推進

- ① 府市協調による子ども医療費支給制度の充実と全国統一の制度創設に向けた国への働きかけ
- ② 2人目以降の保育料無償化など更なる軽減策の検討
- ③ 公園の魅力向上や公共施設等の活用による遊び場や活動の場の創出など、子ども・若者の「居場所」と、地域活動への参加等による「出番」の創出
- ④ 児童虐待やヤングケアラーなど、複雑・複合的な課題を抱える子ども・若者・子育て家庭への支援の実施
- ⑤ 希望するすべての方を対象とした産後ケア事業の推進

¹⁰ 科学、技術、工学、数学に重点を置く STEM 教育に、芸術等を加えた総合的な教育

- ⑥ こども誰でも通園制度の実施や障害のある園児の受入環境の充実など、保育環境の向上
- ⑦ 老朽化した保育施設・設備の改修・更新に対する支援制度の構築
- ⑧ キャンセル加算の創設など、病児・病後児保育制度の安定的な運用に向けた制度の拡充

(3) 子育て世帯をはじめ市民にとって魅力あるすまいの流通

- ① 京都安心すまい応援金や空き家バンクの活用などによる子育て世帯の定住・移住促進
- ② 京都市若者・子育て応援住宅（愛称：こと×こと）をはじめとした市営住宅空き住戸の活用促進
- ③ 良質で低廉な住宅の創出に向けた市内周辺部の都市計画規制の再考

5 豊かな自然・歴史的景観と地域の魅力を活かした「自然環境と調和する持続可能なまち」

温室効果ガス排出量の削減ペースの鈍化傾向、森林・農地の多面的機能の低下といった課題に対応し、豊かな自然・歴史的景観と都市機能の改善・向上が両立する持続可能なまちを目指すため、脱炭素化・資源循環の推進・生物多様性の保全と回復の一体的実施、森林・農地の保全・活用・魅力発信、豊かな自然・歴史的景観の保全に取り組む。

また、公共交通の担い手不足やポテンシャルを活かしきれていない地域の存在といった課題に対応するため、持続可能な公共交通の維持と地域の多様な主体との連携によるまちづくりに取り組む。

(1) 脱炭素化・資源循環の推進・生物多様性の保全と回復の一体的実施

- ① 「脱炭素先行地域」¹¹の取組など、京都の文化・暮らしの脱炭素化の推進
- ② 食品ロス削減の推進や小売業者への助成を通じた資源物回収の拡大など、ごみの減量・資源循環の推進
- ③ ごみ出しが困難な高齢者への支援の充実
- ④ きょうと生物多様性センターを核とした市民・地域・企業等との連携による生物多様性保全と回復、生物資源の持続可能な利用の推進
- ⑤ 京都の自然の素晴らしさを身近に感じ、発見し、愛着を深める「生きものむすぶ・みんなのミュージアム」の創設

(2) 多面的機能を有する森林・農地の保全・活用・魅力発信

- ① 市民や企業など多様な主体の参画による森林保全活動の推進
- ② 森林文化の魅力発信などによる農山村への新たな担い手の呼び込み
- ③ 農作物に被害を与える野生鳥獣への対策の強化

(3) 豊かな自然・歴史的景観の保全

- ① 京都特有の水辺環境や自然、文化など鴨川や高瀬川が持つポテンシャルを活かした府市協調・公民連携による地域の魅力向上
- ② 地域の特性に応じた都市機能の改善・向上と美しい景観の保全の両立を図る景観政策の推進

(4) 持続可能な公共交通の維持、地域の多様な主体との連携によるまちづくりの推進

- ① 利用者の減少や担い手不足により厳しい状況にあるバス路線を維持するための支援
- ② 地域や交通事業者との連携による、高齢者なども含めたモビリティ・マネジメント¹²（利用促進）の取組の推進

¹¹ 2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力における取組において、全国の先行例・模範となって、地域脱炭素の取組を広げていくことが強く期待される地域

¹² 過度にクルマに頼る移動から徒歩や公共交通の利用等による移動へと、一人一人の住民や、ひとつひとつの職場組織等に働きかけ、自発的な行動の転換を促していく一連の取組

- ③ 「なりふり構わない経営改善」による市バス（均一区間）の運賃改定回避
- ④ 地域特性に応じた活性化プロジェクトの市内周辺部の他の地域への拡大展開と新たな交通ネットワークの整備を図り、周辺自治体とも連携して京都全体の発展につなげ、広域的な都市圏「大京都圏」を創出

6 市民のいのち・暮らしを守る「安心安全で災害に強いレジリエント¹³なまち」

水害・土砂災害の頻発化・激甚化、花折断層地震や南海トラフ地震等の大規模災害への備え、救急需要の増加や消防団員数の減少、犯罪被害・消費者被害の多様化といった課題に対応し、市民のいのちと暮らしを守るため、危機管理・防災体制の構築、防災減災のためのインフラ整備、消防救急体制の確保、安心して暮らせるまちづくりに取り組む。

(1) 危機管理・防災体制の構築

- ① 国や府、周辺自治体、地域、事業者との連携による災害時の情報共有体制の強化
- ② 令和6年能登半島地震も踏まえた災害用備蓄物資の充実など、安心、安全かつ快適な避難所環境の整備
- ③ 観光客等を対象とした帰宅困難者対策の推進
- ④ 地域防災の中核を担う消防団や自主防災組織、水防団をはじめとする地域団体との連携や防災力向上に向けた取組への支援
- ⑤ 防災教育・防災訓練の実施、マイタイムライン¹⁴の普及促進などによる地域や家庭の防災力の向上

(2) 防災減災のためのインフラ整備

- ① 道路整備や橋りょうの耐震補強、河川改修等の推進
- ② 水道・下水道の管路・施設の更新・耐震化等の推進
- ③ ため池や水路などの農業用施設の改修・更新等の推進
- ④ ドローン、AIなどの新技術も活用した効率的・効果的な社会資本の維持管理・長寿命化の推進
- ⑤ 堀川通の機能強化や、京都市と大津方面や亀岡方面を結ぶ道路ネットワークなど、国と連携した広域的な道路ネットワークの構築
- ⑥ 木造住宅や京町家等の耐震化・防火改修の推進
- ⑦ 密集市街地対策の推進

(3) 消防救急体制の確保

- ① 「119映像通報システム」の導入による救急隊・消防隊の対応力の強化
- ② 市民・事業所と連携した応急手当の普及啓発やAEDの設置促進

(4) 安心して暮らせるまちづくり

- ① 関係機関や地域との連携による防犯活動の推進
- ② 地域等との連携による子どもの見守り活動の推進

¹³ さまざまな危機からの回復力、復元力、強靱性（しなやかな強さ）を指す

¹⁴ 災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況をあらかじめ想定し共有したうえで、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画